「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	適正容量の 高効率ポンプ・ファン・ブロワーの導入	シート番号	A24031
システム・設備	電動機・ポンプ・ファン	6 類型	設備導入
削減余地順位	全体：29 位　産業部門：29 位　業務部門：30 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	88 廃棄物処理業	25~31 機械工業	75 宿泊業	11 繊維工業
削減余地［千 t-CO_2］	993	246	747	362	114	84	69	49
診断件数	3,303	1,216	2,087	46	42	127	215	62
診断時提案数	82	32	50	1	1	1	16	2
診断時提案率	2[%]	3[%]	2[%]	2[%]	2[%]	1[%]	7[%]	3[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	88 廃棄物処理業	25~31 機械工業	75 宿泊業	11 繊維工業
事業報告書提案数	75	29	46	1	1	1	16	1
事業報告書実施数	9	4	5	0	0	0	2	0
事業報告書実施率	12[%]	14[%]	11[%]	0[%]	0[%]	0[%]	13[%]	0[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	118.2	9.6	0.52	30.9
	導入コスト	[千円]	10,000	4,315	170	5,099
	運転コスト削減	[千円/年]	3,979.7	299.9	26.5	1,022.2
	投資回収年数	[年]	77.6	6.4	1.8	19.9
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	8.4	2.1	0.081	2.8

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	0	実施件数は少ないが実施理由は「省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため」である。
	補助金を活用できたため	0	
	投資回収年数が短いため	0	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	5	
	その他　（無回答を含まず）	0	
未実施理由	初期費用が高かったため	4	既存設備の継続使用理由が多い。
	提案された設備の機能や運用に懸念	0	
	補助金を活用できなかったため	0	
	投資回収年数が長かったため	0	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	1	
	既存設備がまだ使えたため	7	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	0	
	その他　（無回答を含まず）	3	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	21031	LED 照明の導入	
2	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	
3	24012	ポンプ・ファン・ブロワーの流体洩れ対策の実施	○

※ 特記事項

実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量最大事例は事業所 CO_2 削減割合最大でもあり、工場内のエネルギー使用量の多くを占める脱臭用吸引ファンを低圧損タイプの脱臭剤への変更と併せ、投資コスト 8 百万円、投資回収年数 2 年で低圧タイプのファンへ更新した。
（参考）同事業所では併行して工場内のエネルギー使用量の 45[%]を占める老朽化した小型送風機 22 機の更新で 82[t-CO_2/年]の削減を行った。

(2) 投資コスト最大事例は 2 事例同額であり、いずれも稼働 24～42 年の老朽化した水ポンプを高効率ポンプに更新している。投資回収年数 2 桁（77.6、52.8 年）は本 2 事例のみ。